

8月12日の黙想を受けて(ここをクリックすると伝道者の黙想が開きます)

(エペソ人への手紙 第3章 18～19 節)

福音により、キリスト・イエスにあって、ともにひとつのからだに連なる共同体を想う。ユダヤ人と異邦人、人種や民族の違う世界中の人々の共同体、過去の信仰者たちとまだ信仰をいただいていない人々が将来に信仰者となる時の、時間を超えた共同体を想う。私たちが、頭で理解できる愛にとどまらず、人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。

8月16日の黙想を受けて(ここをクリックすると伝道者の黙想が開きます)

(ルカの福音書 第10章 42 節)

詩篇第46篇10節の「静まって、わたしこそ神であることを知れ。」(口語訳)を想います。どうか私たちが静まって、神とより深く出会うことができますように。私たちのうちにおられるイエスさまが、わたしたちの体を用いて今日すべきことをしてくださり、今日、変えるべきことを変えて、私たちをより完全な者にし、成長させてくださいますように。今日そのままにしておくべきことは、あせらずにそのままにできますように。今日すべきでないことは、しませんように、お助けくださいませ。

まさお